

四十一球目

令和2年を迎え
第6次半田市総合計画の総決算の年



市長 榑原純夫

新年、あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和2年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新年最初のサービスエースでは、令和2年度で計画期間の満了を迎える「第6次半田市総合計画」の部門別計画のひとつである「安全で快適に住み続けられるまち」のうち、公園整備の現状についてお伝えいたします。

図書館、博物館の南西に位置する任坊山公園の宮池エリアは、令和2年4月の供用開始に向け、急ピッチで整備を進めているところです。この公園は、池の北側に親水デッキを設置し、宮池の周りにぐるりと遊歩道を設けた水に親しめる公園となります。また、今までの任坊山公園と繋げることで緑と水辺を同時に楽しんでいただくことができます。

市内の公園の整備は、この10年の間に、市の北東に位置する七本木池公園、中央に位置する雁宿公園、今回の任坊山公園宮池エリアと市民の皆様への憩いの場の整備を進めてきました。平成23年3月に策定した総合計画では、「公園・緑化・親水空間」の目指す将来の姿を①愛着のもてる公園づくりが図られている。②安全・快適に公園を利用している。③うるおいとやすらぎのあるまちになっている。としており、現在、この目標に向かって、着実に進んでいるところです。

既にご利用いただいております七本木池公園は、七本木池周辺の自然環境を活かした親水性のある公園として、また、雁宿公園は市内を一望できるロケーション、桜や紫陽花、紅葉、寒椿など様々な植物から季節を感じることで公園として、多くの方々の憩いの場となっています。また、これらの公園をご利用になっていない方は是非、足をお運びください。寒さの厳しい季節ではありますが、公園内をゆっくり散歩し

てみると新たな発見や気分転換ができるのではないのでしょうか。

このほかにも、令和2年度に（仮称）城ノ上公園、終丘公園の整備を進めてまいります。準備が整いまして、市民の皆様には、はんだ市報などを通じてお知らせしますのでご期待ください。

明るい話題をもう一つ。わがまち、半田市有脇町出身の石川昂弥君が中日ドラゴンズにドラフト1位指名を受け、入団が決まりました。昨年、平成最後の春の選抜高校野球大会において、投打に渡る活躍で、見事に

東邦高校を優勝に導きました。また、秋には日本代表U-18チームにも選ばれ、4番バッターとしてチームを引っ張り、私たちに感動を届けてくれました。

甲子園優勝の後、市役所を訪問してくれて、対談したこともある彼の活躍は、我がことのように嬉しく、できればプロの道に進んでくれないものかと期待しておりました。そして、その願いが叶い、石川君がいよいよプロ野球選手としてのスタートを切ります。半田市が生んだ、将来の中日ドラゴンズの4番バッター候補、石川君に12万半田市民の皆様とともに声援を送りたいと思います。

本年も市民の皆様には、安心・安全な暮らしと明るい話題をたくさん提供できますよう、職員一丸となって市政に取り組んでまいりますのでよろしくお願いたします。

任坊山公園(宮池エリア) 基本構想図

